ITCイースト東京 H28年度活動 ご報告

2017年 5月15日 ITCイースト東京

目次

- 1. H28年度活動方針
- 2. H28年度活動計画
- 3. 分科会1活動報告
 - ・会員のスキルアップ機会創出(ITC向けセミナー)
- 4. 分科会2活動報告
 - ·IT経営の普及·啓発活動実践
- 5. 関係団体連携
- 6. まとめ

1. H28年度活動方針

目的

・ITC協会の規定する 経営課題解決のための取り組み手法などを テーマに研究活動を主に行う、 「勉強会志向」の届出組織として活動する。

- I T C イースト東京会員のスキル向上
- スキル向上や会員交流の結果としてアイデアによる I T C 活動のシーズを発掘する。

活動

- ★会員のスキルアップ機会の提供
 - ・学習ポイント取得機会の提供
 - ・スキルアップ機会の提供
 - ·会員ITCの交流機会の提供
 - ・新しいアイデアによるITC活動のシーズ発掘

組織

- 会長 ITCイースト東京を代表し、公的機関、ITCAなどへの公式責任者となる。理事の中から選出する。
- 副会長 会長を補佐し、会長に事故などがあった場合、会長の代行を行う。 理事の中から選出する。
- 理事 総会の意志に基づき、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。また、分科会のリーダー又はイースト東京全体のリーダーとして、総会・理事会の意志に基づき、ITCイースト東京の実務活動を推進する。
- 監事 会計監査を含めた I T C イースト東京の運営・活動に関する監査を行う。
- 事務局 ITCイースト東京の活動を推進するのに必要な補助的活動を行うことで、 活動を支援する。
- 総会 会員全員で構成し、I T Cイースト東京の活動方針、予算などを決定する、 最高意志決定機関とする。
- 理事会 総会の意志に基づき、ITCイースト東京の活動主体である分科会の活動をとりまとめ、 推進する機関とする。会長、副会長、理事、監事、事務局で構成する。
- 分科会 同じ思いを持つ、正会員メンバで構成し、ITCイースト東京の実務活動を担う 主体とする。
- 正会員 ITCイースト東京の活動に賛同する個人(ITコーディネータ)で構成する。
- **賛助会員 ITC**イースト東京の活動に賛同する法人で構成し、
 ITCイースト東京の活動を支援する。

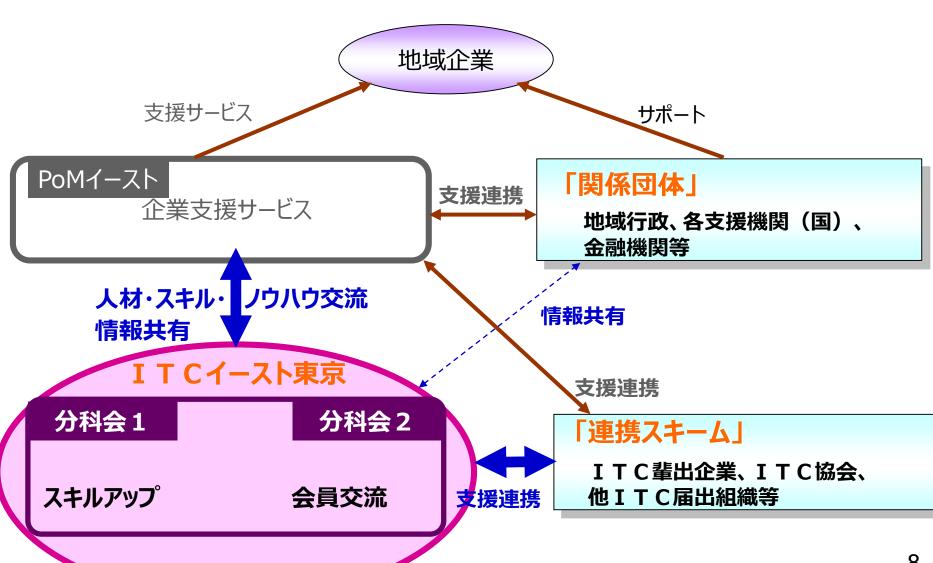


分科会とそのミッション

- 分科会1 : 会員のスキルアップ機会創出
 - □会員のスキルアップ機会創出
 - □学習ポイント取得機会創出
- 分科会 2 : 会員交流・会員ネットワーク構築
 - □分科会2自主勉強会
 - □会員交流企画検討実施

(ex.交流会、地域企業、工場、企業見学など)

ITCイースト東京活動概要図



事務局機能

・事務局は、全体活動を補助する以下のような機能を遂行する。

[事務局機能]

- ①会員管理:
- ②理事会/総会への情報提供・運営:
- ③会計管理:
- ④ H P 管理(イベントの案内、受付機能含む):
- ⑤イベント企画の申込み受付・名簿作成・提供:
- ⑥対外窓口(メール、電話):
- ⑦各種啓発冊子維持管理:
- ⑧過去電子データ管理:
- 9顧客データ管理:
- ⑩広報キット維持更新:
- ⑪固定資産管理:

H28年度活動方針・活動テーマ・活動施策概要

活動方針: 「I T経営の啓発から推進までを担える 人材へのスキルアップを推進する。」

2つの専門的役割分担(分科会)の中で、会員のスキル向上を図る。

活動テーマ

- ①個々の会員のスキル向上を図り、地域企業の経営革新、IT化支援などが可能なITCリソース・要員を確保・強化する(分科会1)。
- ②会員の交流を図り、会員相互の啓発や、ネットワークを構築する(分科会2)。

活動施策

- ①企業支援可能な要員をより多く確保するため、会員の交流・スキルアップを図る。 ・セミナー、会員勉強会、事例研究、企業研究などを行う。
- ② I T経営のアイデアを輩出するため、新しいアイデアを検討し、活動のネタを 発掘する。
 - ・アイデア検討会などを行う。
 - ・IT経営連携機関との交流・情報交換を図る。

2. H28年度活動計画

1. 分科会1 活動計画

1. 目的

- ・会員のスキルアップ機会の提供
- ・学習ポイント取得機会の提供

2. H28年度セミナー予定

- ·年2回 ··· 11月、5月
- ・4時間/回(3講演、4ポイント)
- ・開催場所:豊洲文化センター

3. セミナー対象者

・ITコーディネータ (ITCイースト東京会員以外のITCも含む)

2. 分科会2 活動計画

1. 目的

- ・会員交流活動(交流の企画/運営)
- ・会員間のネットワーク構築

2. 計画案

- ①分科会2メンバによる自主勉強会+会員交流企画検討会8回(5月~3月、1回/月)程度
- ②会員交流イベント(勉強会、見学会、交流会など)
 - ·勉強会(1H/回)&交流会(1.5h/回): 4回 (ITCA後援勉強会予定:4回)
 - ·見学会 : 1回
 - ・会員交流からの新たな活動提案 : 1~2件
 - ・・・他コミュニティとの交流など

3. 分科会1活動報告 会員のスキルアップ機会創出(ITC向けセミナー)

分科会1の活動メンバ

★メンバ:6名

体制が脆弱であり、 体制強化が必要。

- 1. 斎藤 尚志 会員(企業内ITC) リーダー
- 2. 千田 哲義 会員(企業内ITC)
- 3. 小林 裕明 会員(企業内ITC) サブリーダー
- 4. 石井 望美 会員(企業内ITC)
- 5. 三枝 直子 会員(企業内ITC)
- 6. 古田 英明 会員(企業内ITC)

ITC向けセミナー実施実績(1)

第1回 平成28年05月16日(月) 14:00~18:00

■開催場所: 江東区豊洲シビックセンター レクホール 〒136-0061 東京都江東区豊洲2-2-18 TEL03-5534-9299



■講演内容:

講演1:「平成28年度ITC協会重点施策と新プロセスがイドライン改定について」

ITコーディネータ協会 常務理事 平 春雄 様

講演2:「「観察」「共感」で関係性をデザイン ~顧客の潜在ニーズ&インサイトを掴もう~」

中小企業診断士 丸尾 和子 様

講演3:「平成27年度ITCイースト東京活動報告」

ITCイースト東京 分科会1 小島 郷史 様

■ 集客数: 58名((賛助会員:41名、一般会員:15名、他ITC:2名、講師:2名)

■アンケート結果(有効回答:46人)

とても良い : 17人 良い : 20人 普通 : 8人 あまり良くない: 1人

良くない : 0人





ITC向けセミナー実施実績(2)

司会 斎藤 尚志



ITC協会 常務理事 平 春雄 様



中小企業診断士 丸尾 和子 様





ITCイースト東京 小島 郷史



副会長 大石 弘人



元会長 岡野 勝俊



新会長 森内 正美



ITC向けセミナー実施実績(3)

第2回 平成28年11月21日(月) 14:00~18:15

■開催場所: 江東区文化センター 3F レクホール

〒135-0016 東京都江東区東陽4-11-3 TEL03-3644-8111

■講演内容:

講演1: 「動かない経営者には数字で見せろ!

社長も気づかなかった現場の課題があきらかに

~新しい「業務の見える化」手法でコンサルカアップ!~」

一般社団法人 情報の森 理事 株式会社 スキット 取締役 野田 和巳 様

講演2: 「現場にみる中小企業の国際化支援

~ホントのニーズとコンサルティング事業のあり方についての考察~」

株式会社チアーマンサポート 代表取締役 中小企業診断士 後藤さえ 様

講演3: 「経営パートナーズ・イースト東京ご紹介」

経営パートナーズ・イースト東京(PoMイースト) 代表理事 池島 晃 様

■ 集客数: 57名((賛助会員:35名、一般会員:14名、 他ITC:8名、講師:3名)

■アンケート結果(有効回答:46人)

とても良い : 6人 良い : 25人

普通 : 5人

あまり良くない: 1人

良くない : 3人





ITC向けセミナー実施実績(4)

会長挨拶 森内 正美



株式会社 スキット 取締役 野田 和巳様



株式会社 チアーマンサポート 代表取締役 後藤 さえ様



PoMイースト 代表理事 池島 晃様



司会 斎藤 尚志



H28 ミッションの成果(評価)と今後への課題

(1)成果

- ・多様な講演内容で毎回好評であった。
- ・参加人数は延べ115名(前年度比99% -1名)であった。 賛助会員:76名、一般会員:29名、非会員:10名であった。 場所も変わり第2回目の方が参加者が増えており、今後とも テーマとタイミングに依存するとは思うが、参加者数は安定して きたように思われる。

アンケート結果は、平均79%が「良い」との回答であった。 評価は講演テーマに依存していることを確認んした。

(2)今後への課題

- ①魅力があり、トレンドで役に立つ講演の設定 (IoT、クラウド、AI、ビッグデータ、ブロックチェーンetc)。
- ②豊洲シビックの新会場を継続的に使用していく。
- ③賛助会社からの参加費補助が安定的となり収支は安定している。

4. 分科会2活動 会員交流・会員ネットワーク構築

分科会2の活動メンバ(H28年度)

★メンバ:17名

- 1. 岡野会員(企業内)
- 2. 森内会員(企業内) リーダー
- 3. 森元会員(企業内) 会計·事務局
- 4. 都間会員(企業内)
- 5. 好澤会員(独立系)
- 6. 新冨会員(企業内)
- 7. 岩嶋会員(企業内)
- 8. 南会員 (企業内)
- 9. 多賀会員(独立系)
- 10. 三宅会員(企業内)
- 11. 古藤会員(独立系)
- 12. 伊藤会員(企業内)

- 13. 中村会員(企業内)
- 14. 桜井会員(独立系)
- 15. 藤井会員(企業内)
- 16. 冨田会員(企業内)
- 17. 萩原会員(企業内)

★常時メンバ募集中です。
昨年度末より1名増加しています。

H27 分科会2の活動状況①

★分科会2メンバ自主勉強会/会員交流企画検討会

	開催日	テーマ	人数	補足
1	2016. 4. 21	交流企画検討2H	8名	分科会2メンバ
2	2016. 5. 19	交流企画検討2H	8名	同上
3	2016. 6. 15	交流企画検討2H	11名	同上
4	2016. 8. 25	自主勉強会(見学会)2H	9名	同上
5	2016. 9. 27	自主勉強会2H	12名	同上
6	2016. 11. 9	勉強会&交流会、見学会準備 検討2H	11名	同上
7	2016. 12. 19	自主勉強会2H	11名	同上
8	2017. 2. 3	自主勉強会2H	12名	同上
9	2017. 3. 16	活動計画検討2H	11名	同上

計9回の自主勉強会や交流企画検討会を実施。 今年度は前半で交流企画検討を集中的に実施。

【参考】分科会2自主勉強会について

【分科会2自主勉強会について】

①H28年度の勉強会テーマ: 当番制、輪番制でメンバが議題を持ち寄る

②進め方:

連携している勉強会スタイルにヒントを得て得意テーマ、持ちネタのブラッシュアップ、 気になるテーマを持ち寄ることによって、双方向でのやり取りを行う。 興味あるテーマが幅広く、色々な意味で示唆を得る。 今年度から広く、参加者を募ることも検討中。

③まとめ:

各開催会毎にまとめを実施した。

4スケジュール:

・4月~3月:当番制、輪番制の勉強会実施

【参考】分科会2自主勉強会について

【分科会2自主勉強会について】

⑤分担と勉強会テーマ:8/25 伊藤『データセンター見学会』





【参考】分科会2自主勉強会について

【分科会2自主勉強会について】

- ⑤分担と勉強会テーマ:
- 11/9 中村『ワールドカフェについて』



- 12/19 新冨
 - 『ビジネスアナリシスとアジャイルの動向について』
 - 2/ 3 桜井
 - 『提案依頼書(RFP)を作成した体験談』

勉強会/交流会の形態について

- ①勉強会は以下の形態で実施
 - ・「届出組織主催」 2H1ポイント相当
- ②勉強会は有料¥1,000(交流会費込み)
- ③講師はITC持ち回り及び外部に依頼
- 4募集 : 25名目安(1回あたり)
- ⑤時間配分 : 勉強会:1H(ポイント対象)、交流会:1.5H
- ⑥開催時間帯: 平日夜(18:30~)
- ⑦開催場所 : 基本公共施設
- ⑧後援 :ITCA *MLで会員案内+協会HPで一般案内
- 9開催予定回数: 4回

H27 分科会2の活動状況2

★ITC向け勉強会/交流会

()内は募集、(自)自己学習、(後)協会後援

	開催日	実績	テーマ	予実 人数	ポイント 有無	対象
1	2016. 7. 26	完了	「あなたはダイバーシティを受容 していますか(女性活用と人材 活用を考える)」 講師:三宅 ひろみ	18 名 (25名)	有 (後)	イースト会員 + 一般
2	2016.	完了	「地域との関わり方の多様化を 考える」 講師 : 藤井 新吾	15 名 (25名)	有 (後)	イースト会員 + 一般
3	2017. 2.15	完了	「どうする? どうなる? これから の100年ライフ "資産"を生 かして長寿を生き抜け!」 講師:山根 一眞	2 2 名 (25名)	有 (後)	イースト会員 + 一般

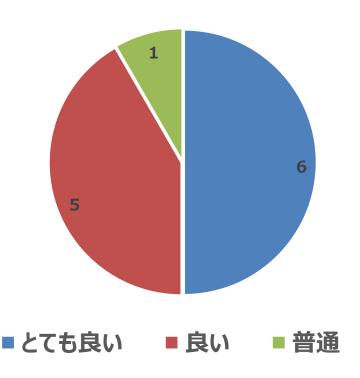
計3回を好評裡に実施。 第3回は過去最高人数の受講者

分科会2勉強会/交流会の評価について

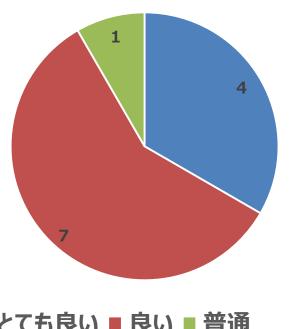
1)7/26 第1回 勉強会&交流会アンケート結果

ダイバーシティをベースに昨今話題の働き方改革に つながるテーマで評価は高かった

Q1今回の勉強会の内容は いかがでしたか



Q2今回の交流会の内容は いかがでしたか



分科会2勉強会/交流会の評価について

2)10/18 第2回 勉強会&交流会アンケート結果

印象に残った キーワード?

評価:とても満足4、満足9熱のこもった講演が伝わった

クラウドブランディング、地域経済循環率

共感、ローカライゼーション、プロボノインパクト目標、地域を好きになるニアショア、READYFOR地域貢献、真庭市のローカライゼーション3つのゴール ライフゴールエモーショナルゴールエンドゴール

地域との関わりは恋愛に似ている ソーシャルビジネス 地域とNPOの関わり

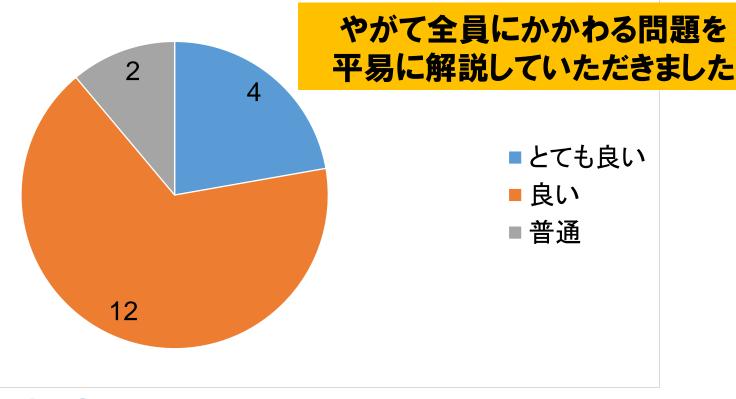
●実施風景



分科会2勉強会/交流会の評価について

3)2/15 第3回 勉強会&交流会アンケート結果

Q 今回の勉強会の内容はいかがでしたか



・おもしろかった。

ご意見

- ・実際に株には投資していますが漠然としていたのでいい気づきになりました。
- ・投資について参考になった。

●実施風景



どうする? どうなる? これからの100年ライフ "資産"を生かして長寿を生き抜け!

2017年2月15日

山根 一真

引退後の生活にかかる平均費用

◆生活費

ゆとりある生活費 :約35万円/月 生活保険文化センター/H25年度「生活保障に関する調査」より 夫婦無職世帯の支出額 : 約28万円/月

総務省「家計調査年報(家計収支編)」H27年家計の概況より

◆介護費用

介護保険受給者1人当たり : 約16万円/月 厚生労働省「H26年度介護給付費実態調査の概況」より

◆イベント費用

子供の結婚費用に対する援助 : 約158万円/人 ゼクシィ結婚トレンド調査H26年より

自宅のリフォーム : <u>約757万円</u> 住宅リフォーム推進協議会「H26年度住宅リフォーム実例調査」より

中古マンション購入 : 約2,580万円 住宅金融支援機構「H26年度フラット35利用者調査報告より

車の買い替え 日本FP協会リタイアメントプランニングより : 約50万~200万円/回 海外旅行 :約50万~300万円/回 日本FP協会リタイアメントプランニングより 独立開業・資格取得 : 0~1,000万円 日本FP協会リタイアメントプランニングより

※上記数値は平均値であり、実態は個々の家庭によって異なる

H28 分科会2の活動状況3

★見学会

0	開催日	実績	テーマと見学先	参加人数	備考
1	2016.	催行	最新物流事情を知る 「ヤマト運輸・羽田クロノゲート」	4名	
2	2016.	催行	データセンターを知る 「アット東京・豊洲データセンタ」	9名	自主勉強会と して実施
3	2016.	催行	歴史を知る 「佐原」	10 名	
	2016. 11. 23	催行	歴史と産業を知る 「蓮田」	7名	一般参加3名
3	2017.	催行	災害に備える 「東京臨海防災公園」	6名	

計5回を計画的に実施。実際に行って見る事で感じるものが多かった。

第1回見学会



第3回見学会



佐原市街(小野川)と香取神宮



第4回見学会



第5回見学会



H28 ミッションの成果(評価)と今後への課題

(1)活動目的

・会員の交流を図り、会員相互の啓発や、ネットワークを構築する。

(2)成果(1)

①交流の活発化

2016年度も、勉強会、交流会や見学会という形で、会員同士、 さらにイースト東京非会員のITCとも交流する場と機会を提供する ことができた。

•勉強会 : 計3回(全で協会後援)、延べ55名参加。

1回あたり、募集25名に対し平均18名(前年比 1名増)の参加。

·交流会 : 計3回、延べ52名のITCが参加。

1回あたり、平均17名(前年比 1名増)が参加。

受講者に対するアンケート結果は毎回好評。

・勉強会 : ためになった、参考になった、~が理解できた 等

交流会の会費(1000円)を勉強会とセットで徴収としているため、途中 退席者が少い。ノーショウ(突然キャンセル)による予算見込みブレは課題。

H28 ミッションの成果(評価)と今後への課題

(2)成果②

②分科会2新メンバの増加

その中でメンバ内を中心とした自主勉強会を実施。興味あるテーマを 持ち寄って交流をはかった。テーマを自由に設定できることから活発な 議論をする場になっている。

③見学会の開催

ここ数年実施できなかったが、今年度5回実施する事が出来た。 新たな発見も多かった。

(3)今後への課題

- ①企画・運営へのノウハウ蓄積されているが、ノウハウの可視化と 形式知化によるメンバの負担感の軽減が必要。
- ②見学会に対するイースト会員の集客が課題。特に、予約必要施設の場合は見込みが立たない事から、今後の検討が必要。
- ③会員同士の交流の中から、形に見える成果の輩出が課題。 継続した検討が必要。



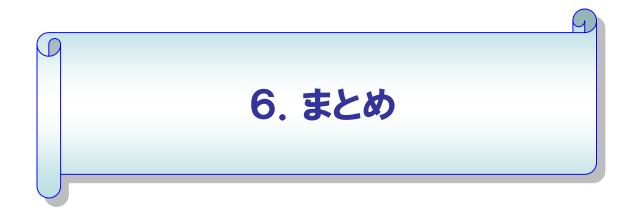
関係団体連携活動

- ★理事、会長を中心に連携実施
 - 6/ 2(木) ひがしん(東京東信用金庫) ビジネスクラブ参加
 - 7/14(火) ITC千葉連絡会 開催
 - 9/29(木) ITマネージメント・サポート協同組合 セミナー参加
- 11/19(土) ITCカンファレンス2016 イーストメンバ講演 (NES河村さん)
- 12/14(水) ICT経営パートナーズ協会 勉強会参加(講演)
 - 2/12(日) ITC多摩協議会 記念講演会参加
 - 2/18(土) ITC千葉NW セミナー参加(講演)
 - 3/15(水) ITマネジメント・サポート協同組合 セミナー参加(護演)

*活動内容例

●ITCカンファレンスでITCイースト東京メンバが講演 日時 11/19(土)13:40~14:30 [Aフ'ロック] 内容 企業内ITCがこれからのSIビジネス拡大のキーパーソンだ!





最後に

<成果>

- · H28年度も前年に引き続き分科会形式での活動が実質継続。
- ・ ITC向けセミナーを通し、会員ITCのみならず、非会員ITCにとって も有効な知識・情報習得の場を維持(非会員ITC受講者数増)。
- 会員、ITC同士の交流の場(勉強会&交流会)の参加者も増え、 好評。
- ・会員ITCの有意義な継続学習の場の維持と収支のバランスが改善。

<課題>

- 関係機関と連携した地域企業へのIT経営啓発活動拡大の為に 対応できる実質的活動メンバの拡大。
- ・ 会員、ITC同士の交流のさらなる活性化、およびそこからの 新たな展開。

以上